

はるにれは見ていた

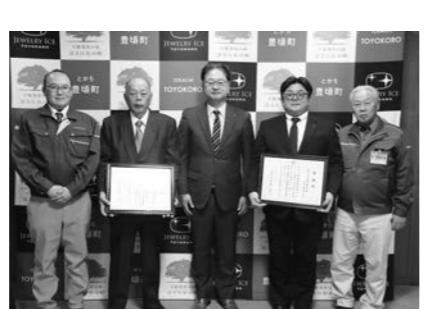
10/30 放牧を終え元気に牛たちが帰牧



10月23日のトイトッキ牧場を皮切りに、27日に湧洞牧場、30日には二宮牧場にて、預託牛の各酪農家への下牧作業が実施されました。

今年5月からの約5か月間、広大な放牧地でたくましく育った牛たちは、農協職員、町役場職員、関係者らの連携により、迅速かつ正確に振り分けられました。牛たちは元気にそれぞれの酪農家へと帰っていました。下牧を終えた各牧場は、来年の預託受け入れに向けた準備に取り掛かることとなります。

10/29 共同企業体へ感謝状を贈呈



役場応接室にて、按田町長より萩原・中島特定建設工業共同企業体に対し、地域貢献活動への感謝状が手渡されました。

同共同企業体は、地域観光振興への協力の一環として、町を代表するイベントである「とよころ産業まつり2025」の開催に向けた会場および駐車場の整備に尽力し、会場の転圧作業や、恒例のイベントである「つかみ取り池」の設営など、多岐にわたる活動で貢献いただきました。

10/29 北央道路工業株式会社へ感謝状を贈呈



役場応接室にて、按田町長より北央道路工業株式会社に対し、按田町長より地域貢献活動への感謝状が贈呈されました。

同社は、災害時における住民の防災上の安全確保に資する重要な取り組みとして、トンケン津波緊急避難場所の整備に尽力し、会場の転圧作業や、横断管の清掃活動が行われ、地域の防災対策の改善に多大なご協力をいただきました。

はるにれは見ていた

11/13 危機管理体制の強化へ災害対策本部訓練を実施



町は、大規模災害の発生に備えた体制と初動対応能力を強化するため、える夢館はるにれホールにて町職員を対象とした災害対策本部訓練を実施されました。訓練には、釧路総合振興局地域創生部危機対策室の西田和也危機対策推進幹を講師として迎え、災害発生直後に災害対策本部を立ち上げた後の各部局の役割と連携を再確認し、有事の際にどのような対策を講じるべきかについて、活発な討論が行われました。参加した職員は、組織全体としての機能維持と迅速な住民支援を実現するために、情報収集から意思決定、そして行動に至るまでの災害時対応の流れについて、実務的な観点から学習しました。

11/13 親子の記念作品づくり手形アート講座を開催



子どもプラザとよころにて、「わんぱく広場」が開催されました。今回の広場では、「てとてと」の田中好恵さんを講師に招き、手形アート講座が実施され、参加した親子は、子どもの手や足にインクをつけて紙やトートバッグに形を押し、その上からスタンプやペンで装飾を施し、記念となる作品を作りました。親御さんは、子どもの成長の証となる手形・足形を活かし、個性豊かな絵や文字を書き加えながら、創作活動を楽しんでいました。

参加者からは、「この時期にしか作れない作品ができて良い記念になった」「とても素敵なお品ができた嬉しい」といった感想があり、貴重な思い出となりました。

11/20 地域で学ぶ
豊頃中2年生が職場体験学習



豊頃中学校2年生の職場体験学習が町内事業所にて行われました。生徒たちは、豊頃町役場をはじめ、茂岩保育所などに分かれ、それぞれの職場で業務を体験しました。役場に配属された生徒2名は広報業務を体験し、同級生たちにインタビューを行い、その日の出来事を伝える「きょうの豊頃」の作成に取り組みました。生徒たちは真剣な表情で各業務に臨み、体験後には「大変さもあったが、とても楽しく、良い経験になった」との感想がありました。

この体験学習を通じて、生徒たちは仕事への理解を深めるとともに、働くことの意義や地域社会における各職種の役割について学びました。

11/14 青少年芸術鑑賞会でオーケストラに触れる



豊頃小学校にて、町内の小学生および豊頃中学校3年生を対象とした青少年芸術鑑賞会が開催されました。

今年度は「東京サロンシンフォニーオーケストラキャラバン隊」が来町し、ヴァイオリン、チェロ、ピアノ、マリンバなど多彩な楽器を用いた演奏が披露されました。子どもたちは、本格的なオーケストラの演奏を鑑賞し、手拍子をしながら楽しんでいました。

また、鑑賞会では演奏体験や指揮者体験も実施され、普段触れる機会のない楽器の演奏に挑戦する子どもたちの姿は真剣でありながらも楽しげで、貴重な芸術体験となりました。